

項目の説明

- (1) 建築物の名称
 - ・建物所有者からの報告に基づく建物名称を記載しています。
 - ・建物名称の「ー」は名称がない個人住宅等を表しています。
 - ・エキスパンションジョイント等で構造上分離されている場合は棟毎に名称を記載しています。
- (2) 建築物の位置
 - ・建築物が位置する地番を記載しています。
- (3) 建築物の主たる用途
 - ・要安全確認計画記載建築物として該当する用途を記載しています。
- (4) 耐震診断の方法（附表の略称）
 - ・附表に記載している耐震診断方法の略称を記載しています。
- (5) 構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価
 - ・エキスパンションジョイント等で構造上分離されている場合は個別に結果を記載しています。
 - ・構造上一体であるが、
 - a) 部分別（ゾーニング）でも耐震診断を行っている場合は全体の診断結果とゾーニングによる診断結果のうち最小値を記載しています。
 - b) 異なる構造種別（診断方法）が用いられている場合は個別に結果を記載しています。
- ① 現状
 - ・報告された耐震診断の結果です。（各数値については塔屋等を除く各階各方向のうち最小値を記載）
 - ・ I_s ：構造耐震指標です。
 - ・上部構造評点：保有耐力を必要耐力で除したものです。（附表の略称 W2012 による場合）
 - ・ $C_{tu} \cdot SD$ ：終局時累積強度指標に形状指標を乗じたものです。（附表の略称 RC2001 他による場合）
 - ・ $C_T \cdot S_D$ ：累積強度指標に形状指標を乗じたものです。（附表の略称 RC1990 による場合）
 - ・ q ：保有水平耐力に係る指標です。（附表の略称 S による場合）
- ② 目標
 - ・ I_{so} ：構造耐震判定指標です。（RC 造・SRC 造の目標値。S 造の場合は目標となる I_s 値を記載）特記なき限り 0.6 です。
 - ・上部構造評点の目標値は 1.0（W 造）です。
 - ・ $C_{tu} \cdot SD$ および $C_T \cdot S_D$ の目標値は 0.30（RC 造）、0.25 もしくは 0.28（SRC 造）です。
 - ・ q の目標値は 1.0（S 造）です。
- (6) 耐震改修等の予定（内容、実施時期）
 - ・建物所有者からの報告に基づき記載しています。
 - ・耐震診断結果の報告時に既に耐震改修を行っていた場合は「耐震改修済」としてしています。尚、安全性の評価の現状欄には「耐震改修後の値」を示します。
 - ・耐震診断結果の報告後、公表までに耐震改修を行った場合は「耐震改修済」とし、その実施時期を示します。尚、安全性の評価の現状欄には「耐震改修後の値」を示します。
 - ・耐震診断結果の報告後、公表までに除却した場合は「除却済」とし、その実施時期を示します。尚、安全性の評価の現状欄には「除却された建築物の耐震診断結果の値」を示します。
- (7) 備考
 - ・(5) について、特記する必要がある場合は記載しています。

※用語の説明：RC（鉄筋コンクリート）、S（鉄骨）、SRC（鉄骨鉄筋コンクリート）、W（木）